

◇開講セッションで、

神田先生より話のありました、「デンタコイン」

ブロックチェーン（第4次産業革命の核となる技術）を利用して歯科治療が無料で受けられるプログラム

【問題】：歯科治療を受けたくても受けられない人 30億人もいる。

【解決】：毎月、本の小額のデンタコインを購入して頂くと、無料で治療が受けられる。ただし、デンタコインを稼ぐためには、食生活を気を付けなければならない、毎日歯磨きを1回行わなければならないなど、予防に関する活動をしなければならない。つまり、歯科医と患者さんが協力して治療費を安くする そういうプログラムとなる。歯が痛くなって 病院に行くと高額になる、あらかじめ予防していこうという動きを促進する仕組み。

世の中の抜本的な問題を解決する  
ためにコインを発行していく

ならば、

「歯科治療」を「日本の介護」と置き換え

そして、問題解決できないか？

# 日本の介護問題 . . . .



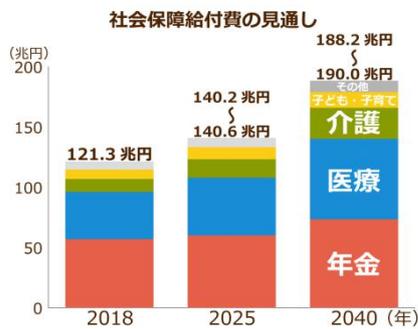
## 1. 介護難民

高齢者が増えすぎるため、介護が必要な高齢者が介護を受けられないという問題

## 2. 介護の担い手の不足（人材不足）

介護従事者の給料を改善するために公的資金が使われているが、公的資金にどこまで頼ることができるのか？

## 3. 国の財政を圧迫（2040年には、介護の社会保障費は、2.4倍出典：内閣府 2018年9月20日時点）



老人ホームを「終の住処」として入所する老人 . . . .。その根底には、「老人ホームの費用  $\geq$  年金額」という方程式が成立するが、それはいつまで成立するのか？

## 4. 介護保険料の増加

10年で、なんと2.8倍に増加！

介護保険料の推移 (月額、65歳以上の被保険者)



## 介護コインを発行して介護問題を抜本的に解決！



「介護状態になることを予防していこう」

「介護を地域の人みんなでやっていこう」

という仕組みを作る！

・毎月小額の介護コインを購入することにより介護が必要になった場合、無料で介護を受けることができるプログラム。

・介護コインを得るためには、リハビリテーション専門家の指導のもとづき、毎日、体を動かすなどの介護予防の取り組みなければなりません。（生きがいや社会で役割をもった生活を自ら積極的に送る）  
（※現在、国も介護状態にできるだけならないような方針を取っている。）

・介護コインを得るためには、一定時間、介護ボランティアに参加する必要があります。  
（介護ボランティアの活動により、介護士の負担が軽減されることが期待）

つまりは、**介護職を支援し、健康寿命を延ばす**ことを促進する。

（注：健康寿命とは日常的・継続的な医療・介護に依存しないで、自分の心身で生命維持し、自立した生活ができる生存期間のこと  
出典：ウィキペディア）

さらに・・・

実は・・・

日本の介護は、**輸出**されているんです！

介護保険制度の無い海外でも「介護コイン」は有効な問題解決手段になるのでは、、という仮説！？

<参考>

<https://www.jetro.go.jp/world/reports/2017/01/3828ad5d925bf40c.html>

介護コインを使って、日本の介護の輸出を促進する。

- ・ 日本国が目指す外貨の獲得（インバウンド・アウトバウンド）へ貢献できないか？！
- ・ 「グローバル化」というキーワードによる介護の担い手へのアピールによる介護人材の確保

（注：介護の輸出と介護コインの関連付けは、現在、ブレスト中という状態です。）

笑顔を次の世代へ～



以上となります。

2018.11.24 佐藤健一